

○今城副議長 次に、矢倉議員。

〔矢倉議員質問席へ〕

○矢倉議員 会派新政自民所属の矢倉でございます。よろしくお願いいたします。今日は、2点言わせていただきますが、まず、1番目は、空き家の耐震化及びそのリフォームの推進についてと、それと2番目が、木造新日野橋の建設計画についてということで、2点お話しさせていただきます。

まず、空き家の耐震化、リフォーム化の推進についてですが、空き家に入居する場合は、耐震改修とかりフォームの工事費に対する補助金についてですけれども、また、その近郊市の場合の補助金についてお伺いします。

○今城副議長 山中都市整備部長。

○山中都市整備部長 本市では、一戸建て住宅の所有者が居住するために耐震改修と省エネ改修を行う場合、補助率を5分の4、耐震改修につきましては、上限140万円として補助を行っております。一方で、耐震改修以外を目的としました空き家のリフォームにつきましては、現在、補助制度を設けてございません。空き家のリフォームに対する補助制度は、空き家の利活用や流通促進を主な目的とするものと認識しております。本市では、こうした空き家の流通促進に向けた取組としまして、令和7年度から空き家等管理活用支援法人や連携協定を締結しています不動産関係団体に対しまして、空き家所有者の承諾を得た上で、所有者の連絡先を提供する制度を開始しております。この制度によりまして、民間の不動産関係団体などが所有者に直接働きかけることが可能となり、民間による空き家、空き地の流通促進を図っているところでございます。

続きまして、他市の補助金についてでございますが、近隣の市の状況を見ますと、境港市では、耐震改修について、補助率10分の10、上限175万円の補助があるほか、市場に流通していない空き家を利活用するために住宅の改修工事を行う場合、補助率2分の1、上限90万円の補助制度があると伺っております。また、倉吉市におきましても、耐震改修に対する補助に加えまして、空き家のリフォームについて、補助率2分の1、上限100万円の補助制度があると伺っております。

○**今城副議長** 議長と言ってください。矢倉議員さん、一回座って、議長と。

矢倉議員。

○**矢倉議員** それで、私、現在この空き家ではないですけど、耐震改修とリフォームの業務をしております。それで、今年は特に、地震、皆さん関心があるようでして、米子市では1件、境港市では3件、現在、耐震の改修工事をしております。それで、やはり、このそれまではほとんどなかったんですけども、補助金が多くて、関わってると、いろんなお金の出資っていいですかね、ていうのがあまりない人もありますし、いろいろありますけども、それって、境港市の1件だけは、島根県のほうからある空き家を買われて、それを今耐震化とリフォームをしてるんですよ。それで、米子市では、あんまりありませんがね。それで、要は空き家も同じく、なるべく補助率を上げたり、上限額っていうのですか、それも上げたりすることができないかなという具合に思ってるんですね。そういうことによって、若い人やなんか特に、要は、前にもありましたけども、こっち帰ってきたいという方もありまして、携わったことがあ

りますけども、やはりあんまり負担がないようにっていいですかね、すると、割と I ターンとか U ターンで帰ってこられる人が多いということのを思って、このことについて発言したようなことでございます。

それで、米子市では、予算のことがあるかもしれませんが、どんだけ補助率を上げられるかなということをお聞きしたいんですが。

○今城副議長 山中都市整備部長。

○山中都市整備部長 米子市のほうでは、補助率を上げる考えは、現時点では持っておりません。今後も他自治体の取組を参考にしながら、空き家対策や耐震化率の向上に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

○今城副議長 矢倉議員。

○矢倉議員 それで、特に空き家というのが、その、何ていいますかね、情報や何かもないといけませんし、その制度のかかる団体っていいですかね、管理会社とか、そういうのは米子では何社、不動産会社とかですね、協定を結んでおられるところは何社ありますか。

○今城副議長 通告はしておられますか、矢倉議員。その内容は、通告しておられますか。

○矢倉議員 してないです。

○今城副議長 しておられなければ、答弁できなくても、申し訳ありませんが、聞いてみますので、どうでしょうか。

山中都市整備部長。

○山中都市整備部長 申し訳ございません、今ちょっと資料が手元

にございませんので、改めて分かり次第報告させていただきます。

○今城副議長 承知しました。

山中都市整備部長。

○山中都市整備部長 大変失礼いたしました。空き家等管理活用の支援法人といたしましては、4団体を指定しているところでございます。以上です。

○今城副議長 矢倉議員。

○矢倉議員 承知いたしました。ありがとうございました。

○今城副議長 質問を続けられますか。

○矢倉議員 この件についてはいいです。

○今城副議長 次の質問を続けられますか。では、続けてください。

矢倉議員。

○矢倉議員 それでは、2番目ですけども、この2番目は2つありますけども、それで、まず、木造で新日野橋を造るということについてですけども、この場所がどこかということ、私の不手際で位置図を皆さんに承知していただくことができませんで、申し訳ありませんが、文章で、私が言いますので、理解してください。

それで、場所は、皆生海岸沿いの道路、ずっとトライアスロンとか、その道路が、皆生から行きますと日野川の堤防に当たったところですかね。そこから対岸の日吉津の堤防っていいですか、そこまでの位置です。

それで、まず1番目に、日野川河口部の木造新日野橋の建設についてお伺いします。

○今城副議長 山中都市整備部長。

○山中都市整備部長 木材を使用した橋梁を建設すること自体は、

技術的に不可能ではないとは考えてはおります。しかしながら、日野川の河口部は川幅が400メートルと広く、道路橋として整備する場合には、十分な強度を確保できるのか、また洪水時の河川の流れを妨げることがないか、さらには、木材の耐久性をどのように確保するのか、将来の維持管理をどうしていくかなど、多くの課題があるものと認識しております。このため、現時点では、日野川河口部に木造の新日野橋を建設することにつきましては、具体的に検討する考えはございません。

○今城副議長 矢倉議員。

○矢倉議員 そのことについてですが、日本っていいですか、世界で一番長い木の橋っていうのが、静岡県の島田市っていうところにございまして、蓬莱橋って、皆さん、聞かれたことはありますか。この橋は、ちょうどいいところありましてね、それと富士山が見えると、すごく。それで大井川にかかっているんですよ。この橋の長さは800メートルあるんですよ。そして、建設されたのが明治12年に建設されとる。現在もあるわけです。ただ、幅が2.5メートルしかない、これは、人と自転車で渡るというような橋でございまして、ここは何か、通行料が要るみたいでしてね、歩行者は、大人は100円、子どもは10円いうことになっております。それで、これ自体が、今まで明治に建設された橋なんですけど、今までまだ、当然直してあると思うですけど、メンテナンスで。こうして現在もあるということで、世界一の木造橋でございます。

それと、現在、日本の木造の技術というのはすごいんですね。建築のほうですけども、高層ビル40階建ての木造があるんですね。それと、現在、米子でも建設中ですけども、皆生道路から米子署に

向かったところの右側のほうに建っておるんですよ、見られたら分かると思いますが。4階建ての校舎みたいな建物ですが、それが木造で建設中でございます。ということで、強度的には十分、そんだけの日本の技術もありますし、幾らでも私は建てられると思います。必要なところを、接合部とかは、その特殊な金物でやってサビないという、そういう工法でどんどんやっております。一つはCO₂の削減ということで、やっておりますね、になるわけですけども。それと、2番目が、皆さん、山口の錦帯橋、御存じですよ。錦帯橋ありますが、これは、200メートル、約190何メートルで、これも結構古い橋ですけども、これも同じようにメンテナンスやって、やっております。

ということで、技術的にもできますし、それと、この橋っていいますかっていうのは、すごく観光、皆生、米子、日吉津の環境にすごく経済効果が絶対あると思いますね。

それと、もう一つは、今、前に、昨日ですね、加藤議員が話されました自転車野郎の加藤さんですが、鳥取うみなみロード、ナショナルサイクルルートが最近認定され、その米子市っていいですかね、の効果がどうかということを質問がありました。そういうことで、うみなみロード、さらにトライアスロンのコースもちょうどその接点にきて、すごくいいんじゃないかと。それと、自転車の安全性といいますかね、車が通らんかったら安全に通行できます。

それと、余談になりますが、私も何年か前にトライアスロンのボランティアをしておりました。これは、交通指導員でやっておったんですが、ちょうど今の431と、あそこ曲がるところがあるんですね、日野川を越えて壺番館ていいですかね、あそこのところでぎゅっ

とこう曲がるところがありましてね、あそこでおったんですが、非常に危なくて、自転車が滑ったりとか、砂で。それと対向で車が来たりとか、大変でございましたけども。そういうことがありますので、とにかく安全、それで快適に。それと一番大事なのが……。

○今城副議長 矢倉議員、質問してください。

○矢倉議員 はい。

○今城副議長 質問を行ってください。

○矢倉議員 はい。質問というのは、そういうことで、この橋を前向きに、建設を前向きに捉えていただきたいと思うんですが、どうでしょうか。

○今城副議長 伊木市長。

○伊木市長 矢倉議員から、そうした御質問を、提言をいただいたというところでございます。

御指摘のとおり、今まさに、うみなみロードがナショナルサイクルルートに認定をされたということがございます。それから、その一角であります弓ヶ浜のサイクリングコースにつきましては、皆生の河口付近までが一つのコースなわけですが、御指摘のとおり、そこらうみなみロードは、国道431号線に向かって日野川の左岸を走っていき、そして、431を、皆生大橋渡って、それからまた日吉津のほうに下りていくというルートを一つ想定するわけですが、確かにそのところがちょっとネックになっているというかもったいないなというところは、実は、サイクリストの方々からもいろいろと御意見をいただいていると、そういう状況はございます。

まず一つ、技術的には可能であるという御指摘でございますが、

もちろんその建設するだけでなく、その後のメンテナンスということも、これ長くやっていかなければいけないということも一つ踏まえるということとはございます。

それと、河口付近は、御存じのとおり、ちょうど海との接点でもありますので、海が荒れてるときなどは、非常に波が大きくかぶったりだとかする場所でもあります。したがって、その設置する場所も含めてですけれども、どこがよいのかということもあると思います。

さらに申し上げると、対岸は日吉津村になりますので、これ米子市単独の事業にはならないということで、広域行政の県と、それから日吉津村と我々米子市とで、もし仮にやるとすれば、そういう三者でやらなければならない事業であるということが言えると思います。今言えるのはそこまででございますが、今そうした御意見もいただきましたので、今後、このナショナルサイクルルートをいろいろと活性化していく中で、様々な御意見を伺いながら、あの辺りのちょうど日野川河口付近辺りの走りやすさとかその辺りをいろいろと御意見を伺った上で、これについては、まずは御意見をいただいたということで受け止めさせていただきたいと、そのように思います。

○今城副議長 矢倉議員。

○矢倉議員 ありがとうございます。前向きに捉えていただきたいと思いますので、これをもちまして、早いようですけれども、終わらせていただきます。ありがとうございました。

○今城副議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。本日はこれをもって散会し、明5日から7日

までは休会とし、８日午前１０時から会議を開きたいと思います。
これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○今城副議長 御異議なしと認め、そのように決定をいたします。
本日はこれをもって散会いたします。

午後３時４５分 散会